



虫の声に、秋を感じるようになりました。  
皆さまにおかれましては、日頃より地域連携室「あざれあ」の活動に対し、ご理解ご協力いただき厚くお礼申し上げます。  
今月は「資源マップ」「研修会」「こころの駅舎」についてご報告します。



### 「資源マップ」調査へのご協力に感謝！

7月1日から、今年度も医科・歯科・調剤薬局・訪問看護・障害福祉サービスの情報をまとめた「東広島市在宅医療・介護・障害福祉資源マップ」の調査を開始しました。この度医科の返信率が100%に達しました。ご協力ありがとうございました。現在編集作業に入っています。完成は例年同様12月の予定です。今年も12月末に皆様にお届けいたしますので、是非ご活用ください。



### 障害福祉関係「研修会」；心理療法あれこれ

平成30年8月9日（木）に比治山大学現代文化学部 社会臨床心理学科の松高由佳先生をお招きし「心理療法あれこれ」と題してご講演をいただきました。

当日は、①心理療法士の仕事について ②様々な心理療法の基礎知識と実際について ③援助的コミュニケーションのポイントについてなど、事例を挙げながら講義をしてくださいました。

アンケートでは、「クライアントの悩み事を傾聴する時の心構え、方法などについて参考になった。」「援助者側が自分自身を知っておく必要があるのですね。言葉づかいが押しつけがましくなっているので、気を付けたいと思います。」などの感想が述べられました。また、次回の研修に向けて「ロールプレイなども活用して実践的に理解を深めたい」「末期癌などの患者に対する接し方、話し方など各論的な話が聴きたい。」などの要望もあり、満足度の高い研修となりました。



## 始まりました！在宅医を増やすための試み「同行研修」

今年度から地域包括ケアシステムの深化に向けて、在宅医療の担い手である在宅医を増やすことを目的として、訪問診療に同行して在宅医療の実際を学ぶ「同行研修」が始まりました。

早速 4 医療機関がこの研修への参加を希望してくださり、それぞれ 8 月 20 日、22 日、28 日、29 日に、藤原内科医院 藤原雅親先生の訪問診療に同行されました。

「同行研修」を終えて、良かったと思うこととして次のような点が挙げられています。

- 必要な診療機器を確認することができた
- 在宅での医療処置の様子を見学することができた
- 患者の生活や、在宅療養の様子がわかった
- 在宅医療を具体的にイメージすることができた
- 家族への関わり方がわかった



また、感想として「必要となった場合は、対応を考えたい」「対象の患者さんがいれば、徒歩圏内であれば訪問診療を考えたい」などの意見が寄せられました。

同行研修を希望される場合は、あざれあにお問い合わせください。指導医と相談の上、調整いたします。(あざれあ；TEL (082) 493-7360 FAX(082)493-7361 担当三上)

## こころの駅舎「イベント型」開催！

平成 30 年 8 月 23 日（木）東広島芸術文化ホールくららにて  
がん患者さん・家族・支援者のつどい こころの駅舎を開催しました。

当日は、昨年も大好評だったハワイアンとフラダンスのサークルの皆さんがボランティアで参加してくださり、ハワイの風を届けてくださいました。今年度は参加型のプログラムも盛りだくさんで、一緒に歌ったり、一緒にフラダンスを楽しんだり、笑顔が絶えないつどいとなりました。

医師会からも、お忙しい中先生方がご参加くださり、患者さんやご家族の相談に応じてくださいました。また薬剤師会からもご参加くださり、輪が広がっています。

平成 25 年から継続しているこの集いは、患者さんやご家族の参加が増えています。先生方が熱心に寄り添い、相談に応じてくださった結果であると実感しております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

